

電気通信大学 平成19年度シラバス

|         |                    |          |        |
|---------|--------------------|----------|--------|
| 授業科目名   | コンピュータリテラシー        |          |        |
| 英文授業科目名 | Computer Literacy  |          |        |
| 開講年度    | 2007年度             | 開講年次     | 1年次    |
| 開講学期    | 前学期                | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法   |                    | 単位数      | 2      |
| 科目区分    | 専門科目-専門基礎科目-必修科目   |          |        |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科<br>システム工学科 |          |        |
| 担当教官名   | 柏原 昭博              |          |        |
| 居室      | 西2 - 119           |          |        |

|                        |            |
|------------------------|------------|
| 公開E-Mail               | 授業関連Webページ |
| kasihara@ice.uec.ac.jp |            |

|  |
|--|
| <p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p><b>【主題】</b><br/>         Problem-Based Learning (PBL) の考え方に基づき、具体的な課題（文書作成・ホームページ作成）の解決を通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーティングシステムUNIXの基本事項</li> <li>・アプリケーションソフトウェアの使い方</li> <li>・情報モラル・セキュリティ</li> </ul> <p>について学習する。</p> <p><b>【達成目標】</b></p> <p>1. 『課題の解決過程に必要なことを自分で学ぶ』ことができるようになること。</p> <p>2. 課題を解決する過程を通して、Webclassに用意された自習用教材や、参考書やWeb等を主体的に活用して課題解決に必要な以下の3つの基本事項を身につけること。</p> <p>(a) コンピュータシステムやオペレーティングシステムUNIXの基本事項を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ファイルシステムによる情報の蓄積・管理</li> <li>- 電子メール</li> <li>- コンピュータネットワークによる情報の送受信</li> <li>- 環境設定</li> </ul> <p>(b) 以下のアプリケーションソフトウェアの基本的な使い方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 文書編集 emacs</li> <li>- 電子メール mew</li> <li>- Webページ作成 HTML</li> <li>- 文書清書 Tex</li> </ul> |
|--|

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

(c) 情報モラル・セキュリティに関する基本的知識を習得する。

3. 課題を解決する過程で得られる作成物を学生同士で相互に評価することで、日本語リテラシーを高めること。

### 【前もって履修しておくべき科目】

なし

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし

### 【教科書等】

参考書：

渡邊成良・若月光夫・織田健 / 共著

「UNIX コンピュータリテラシー（第2版）」（共立出版）

杉原厚吉著

「どう書くか 理科系のための論文作法」（共立出版）

### 【授業内容とその進め方】

1. 授業担当教員から課題を提示する。
2. Webclass上の教材や参考書などを参照しながら、課題を解決する。
3. TAによる質問応答
4. 成果物に対するPeer Reviewとレポートの作成

課題について

- ・14週ある授業のうち、前半の6週は毎週課題を提示する。  
これらの課題は、達成目標2の3つの基本事項に関する課題である。
- ・後半は4週かけて行う課題を2つ提示する。  
これらの課題は、学生4名程度のグループで行う。  
Unix上のアプリケーションを用いて、ホームページや文書を作成する課題である。

Webclassの教材構成

- ・本学ネットワーク利用ポリシー
- ・システム利用の基本事項
- ・文書の編集・日本語入力
- ・電子メール
- ・UNIXの基本事項
- ・ファイルシステム

- ・情報倫理
- ・文書の清書
- ・コンピュータネットワーク
- ・Webページの作成
- ・環境設定

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価基準(最低達成基準)

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

1. 問題解決に必要なことを調べることができる。
2. 漢字仮名混じりのテキスト文の作成、編集ができる。
3. 電子メールの送受信ができる。
4. UNIXの基本コマンドを使用することができる。
5. ファイルシステムを理解している。
6. 以上を組み合わせ、文書作成作業・Webページ作成作業を遂行できる。
7. 計算機の利用におけるモラル、セキュリティー、ネットワーク利用ポリシーの基本事項を理解している。
8. 分かりやすい文章、分かりやすい説明について基本事項を理解している。

成績評価方法

- ・前半の6週は、毎週の課題の達成状況に応じて毎週評価する。  
週によって満点は異なるが、6週で50点満点とする。
- ・後半の課題に対しては、課題に対する取り組みの状況と成果物を  
課題毎に25点満点、合計50点満点で評価する。なお、「学生同士による相互評価」において、他のグループの  
成果物に対して分かりやすい文章で適切に評価内容を記述しているかどうか加味して成績をつける。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話や電子メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

- ・UNIXを使った経験のある人はほとんどいないので、コンピュータに初めて触れる人も気後れすることなく  
積極的に学習に取り組んで欲しい。
- ・実際にコンピュータを操作し、体験的に学習をすること。

【その他】